

平成28年7月7日  
千葉県農林総合研究センター長

## 国内未記録種のヨコバイの発生について（ローズマリー）

- 1 病害虫名：和名なし（英名：Ligurian leafhopper）
- 2 学名：*Eupteryx decemnotata* Rey
- 3 作物名：ローズマリー
- 4 発生経過

平成28年5月、千葉県南部の露地栽培ローズマリーにおいて、葉にかすり状の小斑点が発生し、黄化する症状がみられた（写真1）。現地調査を行ったところ、ヨコバイ類の寄生が確認された（写真2, 3, 4）。

本虫を採集し、農林水産省横浜植物防疫所に同定を依頼した結果、国内未記録種の *Eupteryx decemnotata* Rey であることが確認された。なお、県北西部の住宅地や公共施設の植え込みのローズマリーにおいても発生が確認されている。



写真1 ローズマリー葉の被害



写真2 成虫（体長2.2~3.0mm）

原図：横浜植物防疫所



写真3 成虫の頭部

原図：横浜植物防疫所



写真4 幼虫

## 5 分布と加害作物

本種はヨーロッパ原産で、近年はアメリカ合衆国にも侵入するなど分布を広げている。現在の発生国はイギリス、イタリア、ドイツ、フランス、ポルトガル、スイス、スロベニア、オーストリア、ポーランド、アメリカ合衆国である。海外では、シソ科のイヌハッカ、セージ、タイム、マジョラム、ミント、レモンバーム、ラベンダー、ローズマリーへの寄生、加害が報告されている。

## 6 本虫の特徴

### (1) 被害の特徴

本虫が吸汁することで、葉が黄変し落葉する。ヨーロッパでは、寄生密度が非常に高くなると、枯死等の被害をもたらすとの報告がある。

### (2) 形態

成虫は体長2.2~3.0mmで細長く、軟弱である。体色は黄緑色で前翅に褐色で縁取られた斑紋が多数あるほか、頭部に5対(10個)の黒色斑紋がある。

### (3) 生態

国内における生態はわかっていないが、海外の文献によると、ヨーロッパでは卵で越冬し、6~10月に成虫が出現し、年間2~3世代以上発生するとの報告がある。

## 7 防除対策

現在、本虫に対する登録薬剤はないので、以下の物理的防除に努める。

- (1) 寒冷紗で被覆し、侵入を防止する。
- (2) 被害の程度が大ききようであれば、株ごと処分する。
- (3) 施設栽培で個体数が少ないときは、黄色粘着板を設置して捕獲する。

## 8 その他

本種と疑わしい個体及び被害を見つけた場合は、農林総合研究センター病害虫防除課に連絡する。

病害虫発生予察情報はインターネットでもご覧いただけます。  
<http://www.pref.chiba.lg.jp/lab-nourin/nourin/boujo/>

問い合わせ先

**千葉県農林総合研究センター病害虫防除課**

〒266-0006 千葉市緑区大膳野町 808 TEL 043(291)6077 FAX 043(226)9107

E-mail : cafrc-bojo@mz.pref.chiba.lg.jp